

<

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート

No.23-2

PDCA

主要事業名

通学路安全対策事業

部課名

建設部土木課

担当

三浦

内線

434

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：4 - 1 - 2 単位施策：交通安全

全体事業期間：令和6年度～6年度 全体事業費等：60,266千円

会計一般会計歳出科目：07.02.02.02.52

事業概要等

事業概要：市内一円の通学路整備を実施し、児童の安全を確保する。

事業目的：市内一円の通学路の安全を確保する。

事業内容：市内一円の通学路の整備を行う。

問題点・課題等：児童が安全に通学できるように、計画的な通学路の整備による歩行空間の確保が必要である。

予算額

60,266千円

財源内訳

市費48,334千円

国費11,932千円

県費0千円

地方債千円

その他0千円

主要事業とする理由

児童の安全な通学を確保するため、歩行空間の確保や安全対策を実施する必要がある。

得られる成果

安全・安心な通学路を確保することができる。

目標値や目指すべき状態		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
学校指定通学路整備率(30人～39人)	実績値	95.9	100.0	-	%
	目標値	95.9	100.0	-	%
学校指定通学路整備率(20人～29人)	実績値	-	-	-	%
	目標値	-	-	69.7	%
	実績値				
	目標値				

D

実績値
得られた成果と

決算額

57,343千円

得られた成果

学校指定通学路の安全対策を行うことで、児童の安全を確保することができた。

成果指標		令和6年度	単位
学校指定通学路整備率(20人～29人)	実績値	69.7	%
	目標値	69.7	%

C

課題の整理

事業の評価・課題

B

学校指定通学路において、学校関係者や警察等と協議しながら、道路側溝の蓋掛けや区画線の路面標示の引き直し等の整備を行い、安全な歩行空間を確保することができた。

A

課題の解決に向けた今後

今後の事業の方向性

改善推進

各学校との合同点検の結果及び通学路の見直しを実施し、学校指定通学路の危険個所の対策を計画的に進め、児童の安全な歩行空間を確保する。引き続き、整備に取り組み、20人から29人の通学路整備を進めていく。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-

目標項目(予算計上時に作成)

予算見積書で活用

評価項目(決算時に作成)

主要施策の成果報告書で活用

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	23-3
PDCA	主要事業名		北条向山線道路改良事業		部課名		建設部土木課			担当	三浦
										内線	434

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路											
	全体事業期間： 令和 6 年度 ～ 10 年度 全体事業費等： 998,312 千円											
	会計		一般会計			歳出科目： 07.02.03.02.05						
	事業概要等		都市計画道路環状線などの幹線道路の機能を補い、乙川地区周辺から国道247号、県道半田東浦線、県道碧南半田常滑線へのアクセス向上を図るとともに、通勤、通学の歩行者、自転車の安全を確保する。									
			事業目的： 道路交通のアクセス向上と歩行者等の安全の確保									
			事業内容： 道路用地の測量、取得及び物件の移転補償、道路改良工事を実施する。									
			問題点・課題等： 道路用地の取得及び物件の移転補償において、地権者との交渉を円滑に進めなければならない。									
	予算額		主要事業とする理由									
	37,807 千円		主要な幹線道路の機能を補完して、交通アクセスの向上を図る。また、歩道を設置して、歩行者、自転車の安全を確保する。									
	財源内訳											
	市費 0 千円		得られる成果									
	国費 7,012 千円		通勤、通学の歩行者、自転車の安全かつ快適な通行空間が確保される。道路交通のアクセスが向上する。									
	県費 0 千円		目標値や目指すべき状態		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位				
			事業進捗率	実績値	-	-	-	%				
				目標値	-	-	3.8	%				
その他			実績値									
			目標値									
30,795 千円				実績値								
				目標値								

D 得られた成果と実績値	決算額		得られた成果									
	28,791 千円		令和10年度の工事に向けて、道路予備設計及び用地測量を実施した。また、地元説明会を実施し、地元住民への周知を図ることができた。									
			成果指標					令和6年度	単位			
			事業進捗率	実績値		3.8		%				
				目標値		3.8		%				

C 課題の整理	事業の評価・課題		B 道路予備設計において、愛知県及び警察と協議を進め、安全かつ快適な通行空間が確保される線形の決定をすることができた。また、用地測量を実施する前に地元説明会を開催し地元住民の理解を得ることで、用地測量についても円滑に完了することができた。									

A 課題の解決に向けた今後の方向性	今後の事業の方向性		改善推進 引き続き、令和10年度の工事に向けて、道路詳細設計の実施し、併せて用地買収及び物件移転補償において、地権者との交渉を円滑に進めていく。									
	観点別評価		必要性		有効性			効率性				
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい		⑦コスト削減余地	ない			
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある						
			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	-			

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	23-4
PDCA	主要事業名		新病院アクセス道路改良事業		部課名		建設部土木課		担当 内線	三浦 434	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路										目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 941,423 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 07.02.03.02.54				
	事業概要等		事業概要： 新病院への救命、救急に関わる緊急車両の通行を確保するとともに、利便性の高いアクセス道路を整備する。								
			事業目的： 新病院への道路交通の利便性及び安全性を確保する。								
			事業内容： アクセス道路に係る道路改良工事等を行う。								
			問題点・ 令和7年春の新病院開院に向け、着実に事業を進める必要がある。また、阿課題等： 久比町や鉄道事業者と円滑な調整を行い、事業を進める必要がある。								
	予算額		主要事業とする理由								
	401,510 千円		新病院への円滑な交通環境の確保及び利用者の利便性と安全性を向上させる。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	155,230 千円		新病院への円滑な緊急車両等の通行確保とともに、利用者の利便性と安全性の向上を図ることができる。								
	国費										
	17,680 千円		目標値や目指すべき状態		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位			
	0 千円		事業進捗率		実績値	29.5	56.7	-	%		
目標値					24.3	54.8	100.0	%			
その他				実績値							
				目標値							
228,600 千円				実績値							
				目標値							
D 実績値 得られた成果と	決算額 346,512 千円		得られた成果								評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用
			道路改良工事の実施により、新病院への円滑な交通環境の確保に向けた整備を進めることができた。								
			成果指標						令和6年度	単位	
			事業進捗率				実績値	100.0	%		
							目標値	100.0	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題		B								
			令和7年4月の新病院開院に向け、県下で初となる知多横断道路からの緊急車両退出路において、県道路公社などと連携し工事を完了させ、新病院への緊急車両搬送時間の短縮を図ることができた。 また、新病院周辺での道路拡幅工事や側溝整備工事とともに、阿久比町道区間を緊急車両が通行できるよう名鉄高架下の盤下げ工事などを実施し、利用者の利便性と安全性の向上を図ることができた。								
A 後課題の解決に向けた今	今後の事業の方向性		終了								主要施策の成果報告書で活用
			令和7年4月の新病院開院に向け全ての道路改良工事を完了することができた。								
	観点別評価		必要性		有効性		効率性				
			①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地	ない					
			②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある							
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない						

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	23-5	
PDCA	主要事業名		道路舗装事業（維持修繕・改修）		部課名		建設部土木課		担当	三浦		
									内線	434		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路											
	全体事業期間： 令和 6 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 254,690 千円											
	会計		一般会計			歳出科目： 07.02.04.02.50						
	事業概要等		事業概要： 市内一円の道路舗装について適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。									
			事業目的： 市内一円の道路舗装を維持管理する。									
			事業内容： 市内一円の道路舗装の維持修繕・改修工事を行う。									
			問題点・ 路面の点検に基づき修繕計画の見直しを行い、緊急性、必要性の高いものか 課題等： ら予防的な観点により、計画的に修繕を行う必要がある。									
	予算額		主要事業とする理由									
	254,690 千円		道路舗装の劣化・損傷による道路瑕疵を防ぎ、快適で安全な道路を維持するために修繕や改修を行う必要がある。									
	財源内訳		得られる成果									
市費		快適で安全な道路の通行を確保することができる。										
234,201 千円												
国費												
20,489 千円												
県費		目標値や目指すべき状態										
0 千円				令和4年度		令和5年度		令和6年度		単位		
その他		舗装修繕・改修路線数		実績値		9		7		-		
				目標値		9		7		6		
				実績値								
				目標値								
0 千円				実績値								
				目標値								
D 得られた成果と	決算額		得られた成果									
	250,182 千円		市内一円の道路舗装について、適正な維持管理を行うことで、良好な道路環境の創出と道路利用者の安全確保を図ることができた。									
			成果指標						令和6年度		単位	
			舗装修繕・改修路線数				実績値		6		路線	
							目標値		6		路線	
	C 課題の整理	事業の評価・課題		B								
				計画に基づく舗装修繕工事5路線と舗装新設要望1路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。								
A 課題の方向性	今後の事業の方向性		改善推進									
			過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。									
	観点別評価		必要性		有効性			効率性				
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい			⑦コスト削減 減余地 ある				
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある			※手段の変更				
			③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない			⑧受益者負担適正化余地 -				

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート

No.23-6

PDCA	主要事業名	橋梁維持修繕事業 (維持修繕・改修)	部課名	建設部土木課	担当 内線	三浦 434
------	-------	-----------------------	-----	--------	----------	-----------

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：4 - 3 - 1 単位施策：道路
全体事業期間：令和6年度～6年度 全体事業費等：20,733千円
会計 一般会計 歳出科目：07.02.05.02.50

事業概要等

事業概要：橋梁の安全性を確保するため、計画的かつ予防的な維持管理を行い管理コストの縮減を図る。
事業目的：市内一円の橋梁を維持管理する。
事業内容：市内一円の橋梁の点検及び修繕・改修工事、設計委託を行う。
問題点・課題等：5年毎の定期点検において、異常の早期発見と修繕工事を行う必要がある。また、跨線橋や跨道橋などについては、関係機関との調整を円滑に行う必要がある。

予算額
20,733千円
財源内訳
市費
16,866千円
国費
3,867千円
県費
0千円
その他
0千円

主要事業とする理由
橋梁の適切な維持管理を行うため、異常を早期発見し、予防的な修繕・改修工事を計画的に実施することで管理コストの縮減を図る必要がある。
得られる成果
予防保全の観点から計画的に点検と修繕・改修工事を実施することで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができる。

目標値や目指すべき状態		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
橋梁点検を実施した橋数	実績値	23	8	—	橋
	目標値	24	8	10	橋
	実績値				
	目標値				
その他	実績値				
	目標値				

D

得られた成果と実績値

決算額
17,030千円

得られた成果
計画的に橋梁の点検及び修繕を行うことで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができた。

成果指標		令和6年度	単位
橋梁点検を実施した橋数	実績値	10	橋
	目標値	10	橋

C

課題の整理

B

事業の評価・課題
修繕工事による適切な維持管理を行うことで、橋梁の安全性を確保することができた。また、計画に基づく橋梁点検については、簡易的な構造である5橋を職員により実施することで、コスト縮減を図ることができた。

A

課題の解決に向けた今後

現状維持

今後の事業の方向性
引き続き、定期点検による異常個所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全をしていく。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

令和7年度(令和6年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-7
PDCA	主要事業名	用悪水路維持修繕事業 (維持修繕・改修)	部課名	建設部土木課	担当	三浦	
					内線	434	

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路

全体事業期間： 令和 6 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 67,170 千円

会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.50

事業概要等

事業概要： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図る。

事業目的： 市内一円の水路の維持管理を行う。

事業内容： 市内一円の水路の維持修繕・改修工事、除草を行う。

問題点・ 住民要望や道路パトロールなどにより、修繕計画の見直しを行い、緊急性、課題等： 必要性の高いものから改修等を行う必要がある。

予算額

67,170 千円

財源内訳

市費 57,435 千円

国費 0 千円

県費 0 千円

その他 9,735 千円

主要事業とする理由

適切な雨水排水処理を行い、浸水被害等の軽減を図るため、修繕・改修及び除草を行う必要がある。

得られる成果

快適な住環境の創出と排水機能を確保し、浸水被害の軽減を図ることができる。

目標値や目指すべき状態		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
水路改修箇所数	実績値	—	1	—	箇所
	目標値	—	1	3	箇所
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

D

実績値

得られた成果と

決算額

66,627 千円

得られた成果

市内一円の市管理水路について、適正な維持管理を行い、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図ることができた。

成果指標		令和6年度	単位
水路改修箇所数	実績値	3	箇所
	目標値	3	箇所

C

課題の整理

C

事業の評価・課題

計画的に基づく水路維持改修工事3箇所のほか、住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所については適切に修繕工事を行い、排水機能を確保することができた。

A

課題の方向性

改善推進

用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。また、すぐやる隊の機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		※手段の変更
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）

令和7年度(令和6年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部土木課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-1	道路維持修繕事業 (維持修繕・改修)	B	道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合を早期に発見することができた。道路管理瑕疵は、過去10か年の平均2.0件に対し、近年は、令和4年度2件、令和5年度2件、令和6年度0件と低い水準を保っている。今後も発生の防止に努めていく必要がある。 計画的に実施した改修工事2路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。 また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。	改善推進	危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、必要に応じ道路パトロールの重点項目を見直しながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイレボ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。 また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。
23-2	通学路安全対策事業	B	学校指定通学路において、学校関係者や警察等と協議しながら、道路側溝の蓋掛けや区画線の路面標示の引き直し等の整備を行い、安全な歩行空間を確保することができた。	改善推進	各学校との合同点検の結果及び通学路の見直しを実施し、学校指定通学路の危険箇所の対策を計画的に進め、児童の安全な歩行空間を確保する。引き続き、整備に取り組み、20人から29人の通学路整備を進めていく。
23-3	北条向山線道路改良事業	B	道路予備設計において、愛知県及び警察と協議を進め、安全かつ快適な通行空間が確保される線形の決定をすることができた。また、用地測量を実施する前に地元説明会を開催し地元住民の理解を得ることで、用地測量についても円滑に完了することができた。	改善推進	引き続き、令和10年度の工事に向けて、道路詳細設計の実施し、併せて用地買収及び物件移転補償において、地権者との交渉を円滑に進めていく。
23-4	新病院アクセス道路改良事業	B	令和7年4月の新病院開院に向け、県下で初となる知多横断道路からの緊急車両退出路において、県道路公社などと連携し工事を完了させ、新病院への緊急車両搬送時間の短縮を図ることができた。 また、新病院周辺での道路拡幅工事や側溝整備工事とともに、阿久比町区間を緊急車両が通行できるよう名鉄高架下の盤下げ工事などを実施し、利用者の利便性と安全性の向上を図ることができた。	終了	令和7年4月の新病院開院に向け全ての道路改良工事を完了することができた。
23-5	道路舗装事業(維持修繕・改修)	B	計画に基づく舗装修繕工事5路線と舗装新設要望1路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。	改善推進	過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-6	橋梁維持修繕事業（維持修繕・改修）	B	修繕工事による適切な維持管理を行うことで、橋梁の安全性を確保することができた。また、計画に基づく橋梁点検については、簡易的な構造である5橋を職員により実施することで、コスト縮減を図ることができた。	現状維持	引き続き、定期点検による異常個所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全をしていく。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。
23-7	用悪水路維持修繕事業（維持修繕・改修）	C	計画的に基づく水路維持改修工事3個所のほか、住民要望や道路パトロール等で発見した危険個所については適切に修繕工事を行い、排水機能を確保することができた。	改善推進	用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険個所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。また、すぐやる隊の機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。
課等長	1次評価（令和6年度の総括評価）				
B	道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵事故発生ゼロを目標として、月ごとに重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険個所や不具合を早期発見し、管理瑕疵事故0件であった。また、計画路線等の2路線を始め緊急性の高い路線の道路維持改修工事や、通行に支障となる危険個所などの修繕工事を実施し、健全な生活道路の維持と安全性の向上に努めた。必要に応じて重点項目を見直しながら、継続的に道路パトロールを実施するとともに、道路維持工事については緊急性や必要性を踏まえて早期な対応に努める必要がある。 通学路安全対策事業は、学校指定通学路について、令和6年度より20人～29人が利用する路線の整備を進め、安全性の向上を図った。今後も通学路整備を計画的に実施していく必要がある。 北条向山線道路改良事業は、令和10年度の工事着手を目指し、愛知県及び警察と協議をしながら道路予備設計をした。また、地元説明会を開催し地元住民の理解を得ることができた。今後は、道路詳細設計を進めながら、地権者交渉をし、用地買収及び物件移転補償を進めていく必要がある。 新病院アクセス道路改良事業は、新病院建設工事と工程調整しながら病院開院に遅れを生じないよう新病院周辺の工事を完了することができた。 道路舗装事業は、計画に基づく路線など6路線の舗裝修繕・改修工事、住民通報や道路パトロール等で確認した危険個所の修繕を実施し、安全性の確保を図った。舗裝修繕計画の見直しを行ったが、舗装の劣化については、交通量や利用状況により異なるため、定期的に修繕計画を見直す必要がある。 橋梁維持修繕事業は、修繕工事による適切な維持管理を行うとともに、10橋のうち5橋の定期点検を職員により実施し、コスト縮減を図ることができた。 用悪水路改修事業は、住民通報や道路パトロール等で確認した危険個所の修繕工事を行い、排水機能の確保を図ることができた。改修工事1個所については、地権者との調整に時間を要したため、遅れが生じないよう取り組み必要がある。				
部等長	2次評価（令和6年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
B	道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵をゼロにできたことは評価できる。今後も道路管理瑕疵事故ゼロを目指し、適切な道路パトロールおよび予防的な修繕に努めること。 通学路安全対策事業は、計画的に整備を進めるとともに、学校等と合同で行う通学路点検などにより確認した危険箇所は、早急に改善を図ること。 北条向山線道路改良事業は、関係機関と密に協議をし、進捗管理をしっかり行い道路詳細設計を完了させるとともに、用地買収及び物件移転補償については、地権者への交渉を円滑に進めること。 新病院アクセス道路改良工事は、工事進捗を図るため、県や阿久比町などと調整し、開院までに全ての整備を完了させたことは評価できる。 道路舗装事業は、路面調査や道路パトロールの結果を踏まえ、定期的に修繕計画を見直し、予防保全に努めること。 橋梁維持修繕事業は、予防保全の観点から、定期点検及び点検結果に基づく修繕を計画的に実施すること。 用悪水路改修事業は、工事の進捗管理を適切に行い、遅滞なく実施すること。				